

PTW

ポールトゥウィンホールディングス株式会社

第14期

株主通信

2022年2月1日～2023年1月31日

株主の皆様へ



**国内・海外ソリューション、
メディア・コンテンツの連携を
さらに強固にし、顧客が求める
サービスを全方位で提供します**

2023年4月

代表取締役社長

橋 鉄平

国内・海外ソリューションとも バランスよく売上拡大し、過去最高売上高を達成

当期より、当社グループの事業セグメントを従来の「デバッグ・検証事業」、「ネット監視事業」から、「サービス・ライフサイクルソリューション事業」の単一セグメントに改めました。当事業は、顧客のサービスやプロダクトのライフサイクルの企画、開発、リリース、運用、改善の工程において、品質コンサルティング、ゲームデバッグ、ソフトウェア第三者検証、環境構築・移行サポート、モニタリング、カスタマーサポート、不正対策、BPRサポート等のサービスを提供しており、①国内ソリューション、②海外ソリューション、③メディア・コンテンツ、の3つの業務からなります。

国内ソリューションでは、国内子会社にてゲーム市場向けに、デバッグ、カスタマーサポート、ローカライズ、海外進出支援に関するサービス提供を行っております。Tech市場向けには、ソフトウェア第三者検証、環境構築、サーバー監視、データセンター運営、キッティングに関するサービス提供を行っております。Eコマース市場向けには、モニタリング、カスタマーサポートに関するサービス提供を行っております。当期は、同業務において経営の効率化を推進するため、主要事業会社の合併をはじめとして、積極的な会社統合を進めると共に、統合効果を高めるための人材採用、ITシステムやセンター移転・統合の投資を進めました。ポールトゥウィン株式会社では、合併の効果を活かし、業務のDX化を支援する「DXアシスト」、メタバースの運用を支援する「メタバースplus」等の各種

サービス開発、クロスセルを推進いたしました。この結果、国内ソリューションの売上高は25,560百万円となりました。

海外ソリューションでは、在外子会社において、デバッグ、ローカライズ、音声収録、カスタマーサポート、製品開発サポート、グラフィック開発に関するサービスを行っております。国内ソリューションとの連携により、日本国内の顧客からの受注が増加いたしました。1518 Studios, Inc.(米国現地法人)がウクライナ情勢の影響を受け、グラフィック開発の受注は減少いたしました。音声収録、ローカライズ、カスタマーサポートの受注は堅調に推移すると共に円安により売上が増加いたしました。この結果、海外ソリューションの売上高は11,712百万円となりました。

メディア・コンテンツでは、主に国内子会社において、「IP360°展開」を主軸とした、グラフィック開発、ゲームパブリッシング、アニメ制作、マーケティング支援、バリアフリー字幕・音声ガイド制作に関するサービスを行っております。同業務では、各種ゲームのグラフィック開発を受注し、ゲーム、アニメ、クロスメディア、MD(マーチャンダイジング)事業などIP(知的財産)の価値を最大化する360°ビジネスを推進しており、株式会社SANETTY Produce、株式会社アクアプラスの子会社化により、IPの展開分野を拡大いたしました。この結果、メディア・コンテンツの売上高は2,655百万円となりました。

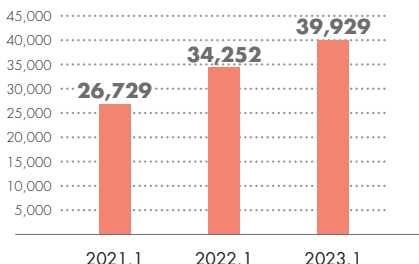
また、1518 Studios, Inc.ではロシアやウクライナ国内のスタッフへ2Dアート開発等の業務を委託しておりましたが、昨今のウクライナ情勢により当初事業譲受時に計画していた事業遂行が困難になったことから、1518 Studios, Inc.に関するのれんや無形資産の減損損失609百万円、一部投資有価証券の持分法による投資損失168百万円及び投資有価証券評価損70百万円を計上いたしました。

これらの結果、当期の連結業績は、売上高39,929百万円(前期比16.6%増)、営業利益2,724百万円(同16.3%減)、経常利益2,689百万円(同19.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は795百万円(同64.2%減)となりました。

連結決算ハイライト

売上高

単位：百万円

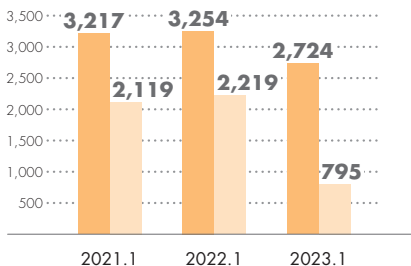


営業利益／親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円

営業利益

親会社株主に帰属する当期純利益



資本政策への取り組み

◎資本政策の考え方

2022年1月期まで自己資本比率、ネットキャッシュが高めに推移しておりましたが、2023年1月期は有利子負債の活用、自己株式取得により、自己資本比率は78.0%→64.4%へ、ネットキャッシュは9,435百万円→7,321百万円へ低下しました。引き続きROE向上・株主還元に取り組み、企業価値向上を図ります。

◎成長投資の方向性

営業キャッシュ・フローを創出しながら、負債と資本をバランスよく事業に投下します。人材獲得やDX推進、働く環境を整備することで経営基盤を強化し、事業成長、拡大のためのM&Aを引き続き実施します。

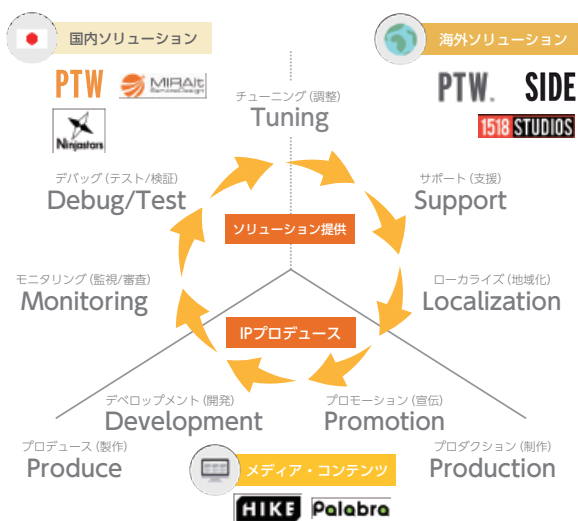
◎株主還元の方針

継続的な成長投資を優先しつつ、配当性向25%を目安とし、機動的な自己株式取得によりEPS、ROEの向上を図ります。この方針により、2022年1月期は617百万円、2023年1月期は938百万円の還元を実現しました。2024年1月期は、1,122百万円の還元を見込みます。

当社グループの事業の特徴

当社グループは、サービス・ライフサイクルソリューション事業で、顧客が求めるサービスを全方位で提供する企業グループを目指しております。国内・海外ソリューション、メディア・コンテンツが連携することで新業界との取引、新サービスの開発が進み、事業のサークルを同心円的に広げていきます。メディア・コンテンツによりゲーム、アニメ業界を活性化させることは、サポートビジネスにも好循環をもたらします。

また、ゲームのセカンダリー運営の受託、メタバースも当社グループのビジネス領域としていきます。2023年5月1日設立予定の子会社、株式会社ADOORにて、新分野に取り組んでまいります。



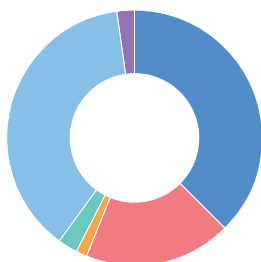
会社情報 (2023年1月31日現在)

会社名	ポールトゥウィンホールディングス株式会社
本社	東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14F
設立	2009年2月2日
代表者	代表取締役会長 橘 民義 代表取締役社長 橘 鉄平
資本金	1,239,064,600円
グループ会社数	連結子会社38社(国内外)
従業員数	連結従業員数:7,287人(内正社員数 2,998人)

株式の情報

発行済株式の総数	38,156,000株(2023年1月31日現在)
株主数	3,544名(2023年1月31日現在)

所有者別株式分布状況



個人・その他	37.72%
金融機関	18.60%
金融商品取引業者	1.21%
その他国内法人	2.49%
外国法人など	37.80%
自己株式	2.18%

株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
基準日	定時株主総会 1月31日 期末配当 1月31日 中間配当 7月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1-3-3 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-288-324(フリーダイヤル)
公告方法	当会社の公告方法は、電子公告といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない時は東京都において発行される日本経済新聞に掲載いたします。 ※電子公告アドレス https://www.ir.phd.inc/koukoku.html

PTW

ポールトゥウィンホールディングス株式会社

東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14F

<https://www.phd.inc/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。